



〈教育目標〉 あたたかい心で人とかわかり、何事にも全力で取り組む生徒の育成

部活動保護者会を実施しました

今週からいよいよ7月になりました。引き続き、学校では新しい生活様式を意識した生活を実践しています。学校再開から約ひと月経ちますが、今のところ大きな心配もなく、順調に日常生活を取り戻しつつあります。

* * * * *

7月1日(水)に、延び延びになっていた令和2年度の部活動保護者会を行いました。年に一度の開催ですが、部活動の様子を見ていただいたり、活動方針への理解を深めていただいたりする貴重な機会と考えています。ご家庭の協力なしでは部活動はできません。各部へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

生徒数減少傾向などの状況から、部員の分散によって十分な活動ができなくなることを避ける意味もあり、今年度は募集について変更をしました。前号でも触れたように、入部希望が叶えられなかった生徒もいましたが、見学や仮入部期間を生かし、現状で頑張りたい部を下表のように選んでくれました。



県内の中学校では35%近くが生徒数250人を切っており、実態に合わせた部活動の再編が進んでいるようです。選んだ部活動をとおして、小川北中学校での部活動での学びが充実することを願っています。そのためにも、生徒の皆さんには一生懸命取り組むことを期待します。



既にお知らせのとおり、3年生の総体代替試合(市内を中心とした中学校との交流試合)については、市の体育施設や中学校の体育館を使用して行うことが決まっています。中学校部活動の区切りとして、また、進学先での部活動につながるものとして頑張ってもらいたいと思います。

令和2年度小川北中学校部活動部員数 7月1日現在

		1年男子	1年女子	2年男子	2年女子	3年男子	3年女子	男子計	女子計	総人数
1	野球	4	4	5	0	5	1	14	5	19
2	サッカー	5	0	15	1	7	0	27	1	28
3	ソフトテニス	0	10		10		6	0	26	26
4	バレーボール		6	2	5	6	4	8	15	23
5	バスケットボール			4	3	8	4	12	7	19
6	卓球	12		9	0	10	6	31	6	37
7	剣道			1	1	4	1	5	2	7
8	吹奏楽	1	3	1	17	0	7	2	27	29
9	学芸部	1	9	1	2	1	7	3	18	21
10	その他	0	2	0	1	1	0	1	3	4
	運動部人数	21	20	36	20	40	22	97	62	159
	文化部人数	2	12	2	19	1	14	5	45	50
	合計人数	23	32	38	39	41	36	102	107	209
	在籍人数	23	34	38	40	42	36	103	110	213

校内研修・第1回授業研究会 先生たちも頑張ってます！

今年度は、校内研修の研究主題を次のように設定しました。

『自ら学び、共に学び合える生徒の育成～教科の特性を生かしたO.K.スタイルの工夫を通して～』

平成27年度から取り入れている学び合い学習「O.K.スタイル」（少人数で相互に関わり合いながら学びを進めたり深めたりする活動を授業に入れる小（O）川北（K）中スタイル）を取り入れ、一斉指導からの脱却を目指して授業改善に取り組んでいます。6月30日（火）に、第1回目の校内授業研究会を行いました。

5校時 2年1組 理科（熊澤先生・沼田先生）

『化学変化と原子・分子』

ものが燃えない条件を調べよう。

イメージしにくい課題を提示することにより、生徒の学習意欲を高めたいと考えた授業。参観者からは、生徒とのやり取りの雰囲気が良い。アイパッドでノートを写し、大画面で共有する方法やマグネットシートの活用など、生徒が考えやすい環境づくりがよかったという声。



生徒とのやり取り、ICT活用と最後のマグネシウム燃焼実験が印象的。

2年2組 数学（小渡先生）

『連立方程式』

加減法で解くための工夫を考え、解を求めよう。

等式の性質を根拠として式を変形し、文字を消去すればよいことに気付かせたい授業。参観者からは、生徒のつぶやきを拾うのが上手であること、分からないところをペアで解決するタイミングや電子黒板（ICT）の活用も参考になったという意見。授業のテンポのよさも○。



よい雰囲気のなかで注目させるところと少人数活動の取り入れ方の妙。

6校時 3年2組 社会（星先生）

『第二次世界大戦と日本』

なぜ日本は開戦して、太平洋戦争を始めたのか。

世界が二度の戦争に向かう動きをそれぞれの国や人々の立場から多面的に考察する授業。参観者からは、前時までの授業を踏まえた適切な課題で、「自分たちだったら」と仮定する問いや近くの生徒同士での確認等の取り入れ方がよく、生徒のまとめが深まっていたとの感想。



分かり合っている生徒と教師の安心感が互いにプラスに作用する教室。

研究授業では、参観者を指定したり自習体制をつくったりして、全職員が参観するようにしました。放課後に協議・意見交換を行いました。教科担当に違いはあっても、生徒への言葉かけや声かけのタイミング、授業展開等は大いに参考になります。生徒だけでなく、職員も相互に学び合い、今後に生かしてまいります。

2学期には講師を招いての研修会や第2回授業研究会を行う予定です。



ありがとうございました！

5月中旬に前PTA会長・市根井克年様が、6月末に現PTA会長・小田和広様が、校庭などの雑草の除去作業をボランティアで行ってくださいました。お忙しいなか、誠にありがとうございました。

